

## 資料10 「設計製図の試験」において使用が認められる平行定規と型板について

### 注 意

使用が認められる **平行定規** 及び **型板（テンプレート）** 以外のものを使用した場合には、退場を命じますので、十分注意して下さい。

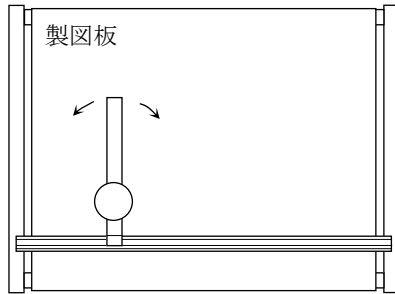
## 平 行 定 規

### ○使用が認められる例

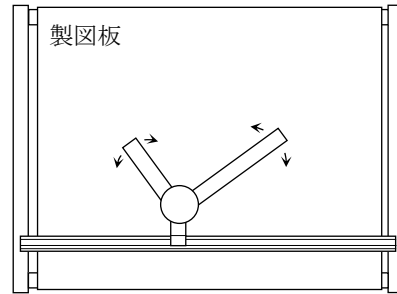
1. 平行定規は、製図板に水平線を引くための定規のみがついているものに限る。
2. 製図板は、大きさが45 cm×60 cm程度（A2用）のものまでとする。（平行定規の装着部分を含めた大きさは、製図板の1割程度大きいものまでとする。）  
なお、傾斜用の軽易なまぐらの使用は可とする。ただし、使用に際しての製図板の傾斜角度は30度以下とする。

### ×使用が認められない例

1. 垂直線又は角度線を引くための定規が装着されているもの

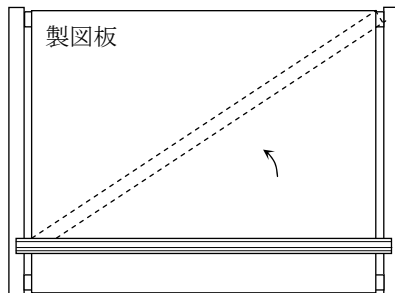


(例1) ×

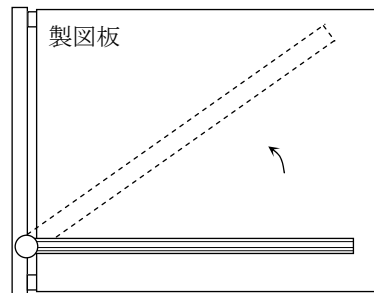


(例2) ×

2. 水平線を引くための定規が自由に傾斜するもの  
(ただし、自由に傾斜しないように固定して、水平に保ったまま使用する場合に限って可)

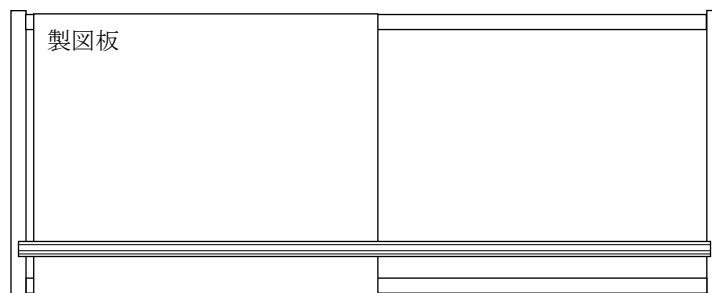


(例3) ×



(例4) ×

3. 他の受験者の妨げになるおそれのあるもの



(例5) ×